

ラン、

〔隨意錄^四〕俚語呼妻曰カケ神。是有由也。孔子曰。夫竈者老婦之祭也。老婦謂先炊者也。自古婦職在供酒食而掌爨炊事也已。

〔松屋筆記^{十二}〕室

近頃の人のあらはせし歌の書に、平人の妻を某室と書たり、いといはれなき事也、有職問答四の卷に、北政所。或はなにがしの室などいふ事は、關白の室に限るよし見ゆ、桃花藥葉には大臣の妻を室といへる例あり、されば室とは必三公の北方ならではいふまじき稱也、後室などいふも、三公の未亡人の稱と見ゆ、愚管抄には、政子の事を頼朝が後家と書れたり、

〔三代實錄^{十六}〕貞觀十一年十二月七日庚寅、從四位下行伊豫權守當摩真人清雄卒、清雄者、左京人也、祖從五位下吉島、父正六位上治田麻呂、清雄之嫡、爲嵯峨天皇之幸姬、生源朝臣潔姬、全姬二皇女、潔姬是太政大臣忠仁公之室也、

〔吾妻鏡^{三十八}〕寛元五年元寶治六月五日丙戌、泰村披御書時、盛阿以詞述和平子細、泰村殊喜悅、亦

具所申御返事也、盛阿起座之後、泰村猶在出居妻室、自持來湯漬於其前、勸之、賀安堵之、仰泰村一口用之、即反吐云云、

北方
〔松屋筆記^{十二}〕北の方

北の方といふ稱は、三公より以下、國の受領の妻に至るまで、しかいへること、空穗、源氏、榮花など考て知べし、こは必本妻の稱也、今も五位以上には書べき也、

〔貞丈雜記^二〕一貴人の妻を、北の方とも云ふ、北の政所マシドコロとも云ふ事、男は陽也、女は陰也、南は陽也、北は陰也、表は陽也、奥は陰也、女は奥に引きこもり居て、内所の諸事を取りはからふゆへ、北の方とも、北の政所とも云ふ也、政所は諸事を取り計らふ役所を云ふ也、